

氏名(本籍) 眞木 信太郎 (愛媛県)
学位の種類 博士(歯学)
学位記番号 甲 第306号
学位授与日 2014年3月22日
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)
学位論文題目 次亜塩素酸電解水を用いたアルジネート印象体の消毒に関する研究

論文審査委員 (主査) 教授 大川 周治
(副査) 教授 中畠 裕
(副査) 教授 大森 喜弘
(副査) 教授 藤澤 政紀

論文内容の要旨

本研究の目的は次亜塩素酸電解水(以下,HEW)を用いたアルジネート印象体に対する消毒の有用性について検討することである。実験1では,被験者として健常有歯顎者8名を選択し,2%グルタルアルデヒド(以下,2%GA),1%次亜塩素酸ナトリウム(以下,1%NaClO),および有効塩素濃度600ppmのHEW(以下,HEW600ppm)を用いたアルジネート印象体の消毒効果について検討した。浸漬時間は各消毒薬とも10分間とした。実験2では,被験者として健常有歯顎者24名を選択し,HEWの有効塩素濃度および浸漬時間がアルジネート印象体の消毒効果に及ぼす影響について検討した。被験者をランダムに振り分けて4グループとし,4種類の有効塩素濃度のHEW(HEW100ppm,HEW200ppm,HEW400ppmおよびHEW600ppm)を1グループにつき1種類応用し,浸漬時間はいずれの有効塩素濃度においても5,10および20分間の3種類とした。実験3では,HEWを用いたアルジネート印象体の消毒が石膏模型の表面粗さに及ぼす影響について検討した。HEWの有効塩素濃度および浸漬時間は実験2と同様とした。その結果,以下の結論を得た。

1. アルジネート印象体を10分間浸漬消毒した場合,HEW600ppmは2%GA,1%NaClOと比較して有意に高い消毒効果を示した。
 2. HEW200ppm以下での5,10および20分間の浸漬消毒は,HEW600ppm,10分間の浸漬消毒と比較して消毒効果の低下が認められた。しかし,HEW400ppm以上では,いずれの浸漬時間においてもHEW600ppm,10分間浸漬消毒とほぼ同程度の消毒効果を示した。
 3. 石膏模型の表面粗さは,浸漬時間が5,10および20分間のいずれにおいても水洗のみの場合と比較してHEW600ppmの浸漬では,有意に大きくなった。
- 以上より,HEW400ppmによる5~20分間の浸漬消毒が,アルジネート印象体の消毒の指標となりうることが示唆された。

論文審査および試験結果の要旨

本論文は,HEWを用いたアルジネート印象体に対する消毒の有用性について検討したものである。その結果,HEW400ppmによる5~20分間の浸漬消毒が,アルジネート印象体の消毒の指標となりうることが示唆され,臨床上有意義な知見を提供しているものと判断できた。

明海大学大学院歯学研究科 眞木信太郎に対する最終試験は2013年12月18日,主査 大川周治教授,副査 中畠裕教授,大森喜弘教授,藤澤政紀教授の4名により,主論文の内容および専攻学術に関し,口頭試験をもって実施した。その結果,合格と認めた。また,眞木信太郎の語学試験は,大学院入学試験時の外国語試験の結果をもって合格とした。

よって,申請者 眞木信太郎の本論文は,博士(歯学)の学位論文に値するものであり,眞木信太郎は博士(歯学)の学位を授与されるに値するものと判定した。